消費者ホットニュース

被災地支援をうたう不審な ダイレクトメッセージにご注意！

＜事例＞

SNSでフォローしている飲食店のアカウントから「指定のサイトで商品を購入すると、被災地に支援ができ、さらに購入額より多い金額が○○ペイで返金されます」というダイレクトメッセージ（以下DMと表記します）が届いた。DM内のリンク先からアプリに誘導され登録したところ、指示された２千円分の商品を「○○ペイ」で支払うよう案内された。その後２５００円分が返金され、複数回にわたり、その作業を繰り返した。全て支払いよりも多い金額で返金されたため、すっかり信用してしまい、10万円であればさらに返金額が高額になると考え支払ったが返金がない。

（60歳　女性）

<u>●「○○ペイで返金します」と言われたら、詐欺を疑ってください。</u>

●被災地支援に関するDMが届き、商品購入や寄付などを求められたとしても、支払う前に当該事業者の公式ホームページなどで偽アカウントに関する注意を呼び掛けていないか、確認しましょう。

●不審なDMやメールには対応しない。もし最初は気が付かなかったとしても、おかしいと気が付いた時点で連絡を絶ってください。

▷問い合わせ　芦屋町消費生活相談窓口（環境住宅課内☎２２３－３５４３）

Discover!
ふるさとWiSh
FUKUOKA & SAGA

ＫＢＣ九州朝日放送「ふるさとＷｉｓｈ」
芦屋町特集！ 11月2日㈪～8日㈰

九州朝日放送（ＫＢＣ）で、福岡・佐賀80市町村をはじめ、ＫＢＣの放送エリアの魅力をテレビ、ラジオ、ＳＮＳでたっぷりと伝える「ふるさとＷｉｓｈ」を放送中です。

11月2日㈪～8日㈰の1週間は芦屋町にスポットを当て、自慢の食や特産品、元気な企業や人など、芦屋町の魅力をたっぷり紹介します。また、ＫＢＣの「Ａｉｔａ（アイタ）ＣＡＲ（カー）」が町内をめぐり、芦屋町のイチオシ情報を放送します。

▷放送番組【テレビ】＝「アサデス。ＫＢＣ」、「ぎゅっと」、「Ｗｉｓｈ＋（プラス）」など
【ラジオ】＝「アサデス。ラジオ」、「ポジモン！」、「ＰＡＯ～Ｎ」、「ハッピーアワー」など

▷問い合わせ　九州朝日放送（☎〈０９２〉７２１－１２３４）



アイタカーが町内を巡ります！



アイタカーリポーターによる中継もあります！



芦屋歴史紀行 その三百六十六

安長寺と空也上人③

芦屋歴史の里では、令和9年1月11日㈰まで、特別展「芦屋の空也上人―時宗安長寺の世界―」を開催しています。開催にあわせ、全5回で安長寺と空也上人について紹介します。3回目は、「空也上人」について紹介します。

●空也上人とは

空也上人（903～972）は、平安時代の僧です。その出自は不明であり、一説には醍醐天皇のご落胤（隠し子）ともいわれます。若い頃から諸国を巡り修行をし、道路整備や行倒れた人を弔うなどの社会事業を行いました。また、「南無阿弥陀仏」を唱え、民衆の間に信仰を広めました。

空也上人は、自身について語らず、教えなどを書き残すことをしませんでした。空也上人に関する最も古い文献は、空也上人の一周忌に合わせて編纂された、源為憲の「空也誄」です。空也誄は、空也上人の生涯を知るうえで、最も重要な資料です。

空也上人が亡くなってからおよそ300年後に活躍し、後に時宗の開祖となる一遍上人は、空也上人を尊敬し、空也上人を手本として全国を遊行しました。

●芦屋と空也上人

空也上人が芦屋に来たのは、天慶年間（938～946）と言い伝えられていますが、空也誄において、天慶年間に九州を訪れたかどうかは不明です。ですが、江戸時代の儒学者である貝原益軒の「筑前国続風土記」には、大日寺（糸島市）が天慶4（941）年に空也上人によって創建されたと書かれています。これは芦屋における空也上人の伝承と時期が一致します。空也上人は天慶年間に九州を訪れ、その際に芦屋に立ち寄ったのかもしれません。

●芦屋の空也上人像

空也上人像は全国各地に存在し、その多くが遊行像と呼ばれる姿です。その姿は、頬はこけ、鎖骨やあばらが浮いている痩身であり、胸に鉦鼓を懸け、右手に撞木、左手に鹿角の杖を持ち、足元は草鞋を履き、左足を一歩踏み出しています。

また、口からは空也上人が唱えた「南無阿弥陀仏」が仏像の姿となってあらわされた六体仏が出ています。現存最古の空也上人像は、重要文化財指定・六波羅蜜寺所蔵の「空也上人立像」（康勝作、鎌倉時代）です。



△芦屋の空也上人像

芦屋の空也上人像も六波羅蜜寺と同じ遊行像です。衣の長い袖が揺れている表現が、力強く一歩踏み出した姿に躍動感を与えているのが特徴です。ただし、芦屋の空也上人像は完存ではなく、鉦鼓、撞木、六体仏が失われています。製作年代は不明ですが、江戸時代以前と考えられています。

芦屋の空也上人像は、これまで秘仏でした。今回の特別展が初の一般公開となりますので、芦屋歴史の里へ見に来てください。

次回は、空也上人と芦屋役者について紹介します。

（芦屋歴史の里）

編集後記

▼地域おこし協力隊として活動してきた脇田さん。今号の表紙では、卒業企画展「あしやまちまんが展」の様子を紹介し、裏表紙には最後のコラムを掲載しています。

私自身、脇田さんと一緒に仕事をする機会が多く、マンガを描く姿を間近で見てきました。そのたびに、芸術的な才能に恵まれた方だと感じ、うらやましく思っていました。

かくいう私は、芸術的な才能に憧れがあるものの、残念ながらあまり縁がありません。学生時代の美術の授業では一生懸命に絵を描いていましたが、作品が入選することはありませんでした。砂像を彫る機会に恵まれた際も、頑張ってイルカを彫ったつもりが、完成したのはなぜかマグロのような作品でした。

脇田さんは、これからも芦屋町に住み、マンガを描き続けます。町で見かけた際には、ぜひ応援してください。いつの日か、芦屋町から有名なマンガ家が誕生したらうれしいですね。（篠塚）

芦屋町公式ＬＩＮＥ